

久留米市技能奨励者表彰

技能奨励者表彰制度は、地域における技能向上及び技能尊重の機能を醸成し、技能者の社会的・経済的地位の向上と地域産業発展に資することを目的としています。優れた技能を有する方に「久留米市技能功労士」「久留米市技能優秀士」「久留米市青年技能優秀士」の称号を贈るものです。平成25年度の表彰は、技能功労士11名、技能優秀士7名、青年技能優秀士4名の22名です。



技能功労士



革靴製造工 40年 株式会社アサヒコーポレーション

秋吉 敏弘さん (57歳 北野町)

豊富な経験と知識がもたらす底付け作業の技

「作業をしながら常に達成率と品質を上げることを考えています。定年まであと3~4年ですが、後継者の育成に一生懸命頑張りたいと思います」と、話す秋吉さんは、高校を卒業すると同時に当社に入社して40年。今では全ての作業工程をマスター。「店で並んでいる靴を見ると、自分が作った靴かな?と、つい目が行ってしまいますよ」と、微笑む。

甲革と底をマッケイミシンで縫い付けるマッケイ製法、縫い付けず糊で接着するセメント製法の成型工程に従事。靴底に糊を塗布する底糊引、貼り付ける底付作業、プレス、検査の4工程を全て一人でこなす。40年にわたる豊富な経験と知識を持ち、会社に必要不可欠な存在の多能工。

技能功労士

四季の自然と併び寂びを表現する和風庭園を得意とする。ヒートアイランド現象防止のための屋上庭園の施工を長年手がけ、都市型緑化の技能に卓越している。一級造園施工管理技士。久留米造園建設業協同組合では若手技術者に技術の指導を行なう。

造園工 47年 株式会社 荒巻園芸場

荒巻 隆雄さん (67歳 荒木町)



四季の植木で家を引き立たせる庭園づくり

「家に化粧をするのが植木だと思っています。いかに家を見映え良く浮き上がるかが庭の役目です。現場に行くと、構図のアイディア、施工方法まで浮かびます」と、二十歳の頃からの長年の経験と知恵で培われた美観的感覚を發揮。「体が覚えているんですよ。従業員の皆さんも技術を受け継いでいただきたい」と、造園工としての喜びを伝える。